

第22回 運動障害研究会プログラム

当番幹事 飯田市立病院 内科 丸山哲弘

日時 2001年7月28日(土)
 時間 14:00 ~ 18:00
 場所 東京都千代田区神田駿河台3-11(三井海上別館ビル6階 601・602号室)
 住友製薬(株)東京本社6階会議室 TEL 03-5280-6711

SESSION I (運動異常)

14:00 ~ 15:30

座長 慶應義塾大学 神経内科 厚東篤生

- 1) Persistent primitive trigeminal artery および内頸動脈閉塞を伴った血管性ヘミヒヨレアの1例
 小堺有史, 野川 茂, 棚橋紀夫, 傅法倫久, 福内靖男
 (慶應義塾大学 神経内科)
- 2) あくびに伴って麻痺上肢に出現した連合運動
 大村朋子, 望月仁志, 福島功二, 中村良司
 (自衛隊中央病院 神経内科)
- 3) 随意収縮により律動性ミオクローヌスの出現した有機溶剤中毒の1例 [Video有]
 小原陽子, 落合香織, 山口 潔, 高嶋浩一, 大塚美恵子, 植木 彰
 (自治医大附属大宮医療センター 神経内科)
- 4) 音刺激により生じた顎部ミオクローヌスの1例 [Video有]
 坂本 崇, 白田明子, 山根清美(大田熱海病院脳神経センター 神経内科)
 水野聡子, 岩田 誠(東京女子医大脳神経センター 神経内科)
- 5) 髄液多核球優位の増多を示した急性散在性脳脊髄炎の1例
 瀬川文徳, 土井 宏, 黒岩義之(横浜国立大学 神経内科)
- 6) 急性小脳炎にみられた異常眼球運動
 大達清美, 内藤 寛, 川田憲一, 葛原茂樹(三重大学 神経内科)

SESSION II (リハビリテーション, 心理)

15:30 ~ 16:45

座長 横浜市立大学 神経内科 黒岩義之

- 1) Clavicle brace が ADL 向上に有効であった筋萎縮性側索硬化症の1例 [Video有]
 吉田秀明, 林 明人, 吉澤利弘, 玉岡 晃, 庄司進一
 (筑波大学 神経内科)
- 2) 頭部外傷患者の評価と治療: 復職を果たした1症例を通して
 武田康義, 清水千英子, 牧野尚子, 額田俊介, 天草万里
 (医療法人のぞみ会 希望病院)
- 3) パーキンソン病患者に対するリハビリテーションの効果 - UPDRS による評価 -
 長岡正範(国立身体障害者リハビリテーションセンター)
- 4) 自尊評価 (self-esteem) からみたパーキンソン病の抑うつ状態に関する研究
 丸山哲弘(飯田市立病院 内科)
 片井 聡(鹿教湯病院 神経内科)
- 5) 脳血管障害患者の自己意識性
 天草万里(医療法人のぞみ会 希望病院)

coffee break

特別講演

17:00 ~ 18:00

座長 飯田市立病院 内科 丸山哲弘

「皮質・皮質下回路の損傷と認知・行動障害」
 森 悦朗 先生(兵庫県立高齢者脳機能研究センター 副院長)